

怪しく光る大きな満月の街

ホテルの上層階で行われた

母子寝取り寝取られ乱交パーティーの様子

第一話

午後9時を少し過ぎた頃、繁華街の中心部から2キロほど郊外に逸れたところにある高層ホテルの上層階の広間とあるパーティーが開かれていた。

「さあっ、今夜も存分に楽しみましょっ！」

「そうだね、おばさんっ！」

「あらっ！！もう準備万端みたいねっ！服の上から・・・フッフッ」

“ピーーーンツツ！！”

まるでテントのよう。

制服、私服・・・。

その出で立ち様々ながら、広間に集まった少年たちの股間部が皆一様に膨れ上がっているのがある程度の距離からでも分かる。

「だってっ！だってだってえっ！！俺たち・・・ずっと我慢できなかったんだからあっ！」

オネダリをするような表情で、もう体は立派な“オトナ”でありながら甘えた声を出す少年たち。

「フフッ・・・可愛いものね、奥さん」

「ほんとよお・・・この子たちと今から・・・クフフッ・・・本当に美味しそう・・・」

この日これから行われようとしているのは、まだ若い少年たちと熟れた“性”盛りの女性たちによる

大乱交パーティー。

酒池肉林、肉山脯林、性の宴、ハレーム・・・

表現はいくつでもある。とにかく淫らで激しい痴態がこれから繰り広げられようとしているのだ。

そして、

このパーティーは単なる赤の他人の年の差男女によるものではない、“特殊な性質”があった。

それは・・・。

“母子寝取り、寝取られ”

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

.....
.....。

健全な関係性の枠を大きく逸脱し、愛し合い日々甘い時間を過ごすカップルのようになってしまった母子たちがこの街には多く存在した。

そして、それには一つの理由があった。

この街に昔から存在する次の“言い伝え”に端を発する.....。

**“この街では満月が他の土地より
大きく照らし出し、
その事実がこの街全体を、
特に満月の日に淫靡なものにする”**

つまり、歴史的に培われてきた倫理的なものを破ってまで男女が罪深い関係性を持ってしまおう、そんな傾向が強くなる雰囲気、満月がひと際大きく輝くこの街には存在したのである。

体験版はここまでです。

もし内容を気に入っていただけましたら、
続きを製品版でお楽しみいただけますと光栄です。